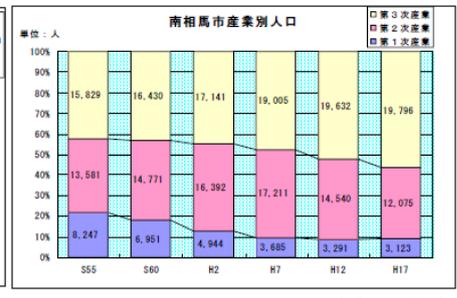
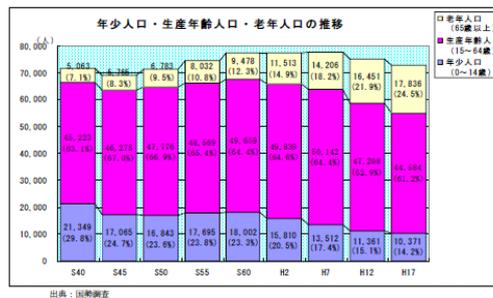


モデル事業名	“元気再生ふるさと応援団” 自立・持続性確立プロジェクト
活動団体名	NPO法人 はらまちクラブ (エヌピーオー ホウジン ハラマチクラブ)
ホームページ	http:// (活動団体のHPのアドレス) <a href="http://genki.npoharamachiclub.jp/index.html">http://genki.npoharamachiclub.jp/index.html</a> <a href="http://npoharamachiclub.jp">http://npoharamachiclub.jp</a>
所属/ 担当者名	ご担当者氏名 (お問合せ先) 理事長 江本節子
連絡先	電話 : 0244-22-2564 090-8258-0840 Email : emoto@npoharamachiclub.jp emoto88@ybb.ne.jp
活動地域	福島県 南相馬市 (フクシマケン ミナミソウマシ)

### ● 活動地域の概要

- ・ 福島県浜通り北部で太平洋に面し、面積は398.5平方km。いわき市と宮城県仙台市のほぼ中間にある。
- ・ 人口約73,000人 (近年は年3%程度減少傾向)、23,000世帯。老年人口約25%。
- ・ 近年第2次産業人口の減少が著しい。



【年齢別人口推移と産業別人口推移】

### ● 活動地域の課題

本地域では、古来より“無尽 (ムジン)”や“結い”と呼ばれる地域互助・共助の文化が残されてきたが、現在では、このような共助・互助の仕組みが、失われつつある。このように、今後は、人口減少や少子高齢化にともない地域の助け合いや伝統文化の継承などが、さらに、困難になってくることなどが懸念されている。

地域の祭りなどの衰退は、住民同士の交流の機会を減じ、ひいては地域の活力の低下につながっている。このような中、地域資源の活用・地域住民の取組を効果的に進めていくためには、地域内の人・物・金・情報を有機的に連携させていく仕組みと推進役が必要であると言われている。また、そのような活動は一部のメンバーのがんばりだけに頼っていたのでは、継続が難しいことも指摘されている。

このような仕組みや推進役の価値を市民が認識し、多くの市民が参画する中で、このような活動や組織を支える仕組み・関係を確立していくことが求められている。ニューコミュニティ創出の実現である。

### ● 活動の内容

「南相馬市ふるさと元気応援団」を設立し、人的資源を集約するボランティアバンク制度及び、市民の小さな力を集めるスーパー地域通貨優路システムを構築した。

このスーパー地域通貨の有効性の検証と交流機会を創出することを目的として各種の元気プロジェクトを実施した。これにより、中間支援的組織とプラットフォームの有効性を、地域住民・行政・企業が実感し、その諸活動を地域の力で無理なく支える仕組みをつくり、これに参加してもらえる機会を増やしていくことを目指した。

2年間の活動により、スーパー地域通貨優路の社会実験および本格運用と定着発展をはかった。

また、これらの仕組みを有効に機能させるために、情報システムの整備を図った。

#### (直近1年間の進捗など)

ふるさと元気プロジェクトは精力的に開催し、ボランティアの謝金やイベントの賞品にするなど優路の利用拡大を図った。

## ● 活動の成果

### ・全体

(活動の成果、地域内での反響・効果及び周辺への波及効果等について記入)

ふるさと元気プロジェクトの応援団活動の実施

- ①主催：ルワンダフルコンサート（7月2日 480名）
- ②盆踊りパレード参加（7月23日 220名）
- ③主催：相馬野馬追い応援団：元気一番生テレビ中継（7月24日 1000杯のポカ리를振る舞った）
- ④福島ユナイテッドとの共催：南相馬チャレンジカップ2010（7月25日 200名）
- ⑤主催：第3回ビーチ遊すぽ（8月1日 958名）
- ⑥主催：第1回南相馬市子どもまつり&アイスまんじゅう早食い世界大会  
&福島県相双地域医療フォーラム（8月21日 1291名）
- ⑦主催：第6回まちなか元気俳句ING&自然災害科学実験教室（10月11日 182名）
- ⑧予定：第2回東西対抗リレー球技大会&ドキュメンタリー映画会「アイ・コンタクト」
- ⑨予定：第7回3世代交流遊夢犬運動会
- ⑩予定：サンライブ優路ランド（総会・優路発表会・うれシール応援団発足）

地域内での反響・効果及び周辺への波及効果等について

スーパー地域通貨優路は夏休みの子どものラジオ体操の褒美とする行政区があり、また、障害者の作業所での利用、個人的には家計に有効な方法として常時交換する人が出るなどの現象で浸透を実感。優路の名前が聞かれるようになり認知度も上がってきた。



7/24 相馬野馬追い応援団



8/1 ビーチ遊すぽ（綱引き）



8/21 地域医療フォーラム

### ・直近1年間の成果など

(活動の状況、地域内での反響・効果及び周辺への波及効果等について記入)

委託金が無くなっても、元気プロジェクトはこれまで以上に精力的な開催ができ、優路の評判もゆっくりながらじわじわと浸透してきた。



俳句INGの銀メダルの副賞として優路二枚



子どもまつりで優路おこづかい券発行

## ● 今後の課題及び展望

### ・課題（活動を通して発見された課題等を記入）

想定外のプラス効果は多いが、およそ想定していること以外の課題はない。

### ・展望（今後の取組みや検討について記入）

1年経過したところです。今後優路の浸透は当然、うれシールの浸透をも図っていく。優路コミュニティの創出は確実。

### ● その他（自由記述）

まちのみんなが優しさの連鎖で繋がるのが肝要な社会になってきた。そのツールとしてのスーパー地域通貨優路マジックがまちを明るくしていくことを実践して参ります。《持続進化プロジェクトとして発展》

※優路マジックとは…優路が介在するとお金と違うものが双方に流れるなどの多くの付加価値が着いた通貨（ハートのコインだから？）の実感をいう。